

典礼のしおり

0 Domingo

N° 13

PANIB 発行

22 - 03 - 2026

四旬節第5主日

私たちの内に住まわれる神の霊は、不信仰と利己主義という致命的な罠から自由に歩むよう私たちを招いています。マルタとマリアと共に、イエス・キリストへの信仰を宣言いたしましょう。神の言葉に照らされ、聖体祭儀に養われるすべての人々にとつて、キリストは復活であり命です。

入祭唱

神よ、あなたの裁きを現し、わたしの訴えを聞き入れてください。神を恐れず、偽りに満ち、暴力をふるう民からわたしを救い出してください。あなたはわたしの逃れ場、わたしの神。

集会祈願

全能の、神である父よ、御子キリストは、人々を愛してみずからを死に渡されました。わたしたちも、この

愛のうちに力強く歩むことができましように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

※朗読の解説

神はまるで墓泥棒のように墓を開くが、神が求める宝は埋葬品ではなく、枯れた骨である。この骨を墓から「引き上げ」、霊を吹き込み、生きる者にし、イスラエルの地へ「連れて行く」。エジプトから民を引き上げ、約束の地へと連れて行つたように。

エゼキエルの預言（エゼキエル 37・12-14）

主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、お前たちはわたしの主であることを知るようになる。また、わたしがお前たちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしはお前たちを自分の土地に住ませる。

そのとき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、
行ったことを知るようになる。

答唱詩編 ○典 11701 ○3 ○4

(詩編 130・1+2' 5+6' 7a+8)

先・主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。
全・主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

神よ、深い淵からあなたに叫び、
嘆き祈るわたしの声を 聞いてください。

全・主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

神はわたしの希望、心の望み、

わたしはみことばを待ち望む。

夜明けを待ちわびる人にもまして、

わたしの心は主を待ち望む。

全・主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

イスラエルよ、イスラエルよ、主を待ち望め。

主はすべての罪から イスラエルを救われる。

全・主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

使徒パウロのローマの教会への手紙

(ローマ 8・8-11)

〔皆さん〕肉の支配下にある者は、神に喜ばれる
はずがありません。神の霊があなたがたの内に宿って
いるかぎり、あなたがたは、肉ではなく霊の支配下に
います。キリストの霊を持たない者は、キリストに属
していません。キリストがあなたがたの内におられる
ならば、体は罪によつて死んでいても、霊は義によ
つて命となつています。もしイエスを死者の中から
復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているな
ら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたが
たの内に宿っているその霊によつて、あなたがたの
死ぬはずの体をも生かしてくださいさるでしょう。

詠唱

わたしは復活であり、いのちである。わたしを信じる
人は永遠に死ぬことはない。

ヨハネによる福音(ヨハネ 11・1-45)

〔そのとき〕

ある病人がいた。マリアとその姉妹マルタの村、ベ

タニアの出身で、ラザロといった。このマリアは主に香油を塗り、髪の毛で主の足をぬぐった女である。その兄弟ラザロが病気であった。》

「ラザロの」姉妹たちはイエスのもとに人をやつて、「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」と言わせた。イエスは、それを聞いて言われた。「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによつて栄光を受けるのである。」イエスは、マルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。ラザロが病気だと聞いてからも、なお二日間同じ所に滞在された。それから、弟子たちに言われた。「もう一度ユダヤに行こう。」

《弟子たちは言った。「ラビ、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あるではないか。昼のうちに歩けば、つまづくことはない。この世の光を見ているからだ。しかし、夜歩けば、つまづく。その人の内に光がないからである。」こうお話しになり、また、その後で言われた。「わたしたちの友ラザロが眠っている。しかし、わたしは彼を起こしに行く。」弟子たちは、「主よ、眠つて

いるのであれば、助かるでしょう」と言った。イエスはラザロの死について話されたのだが、弟子たちは、ただ眠りについて話されたものと思つたのである。そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。わたしがその場に居合せなかつたのは、あなたがたにとつてよかつた。あなたがたが信じるようになるためである。さあ、彼のところへ行こう。」すると、デイデイモと呼ばれるトマスが、仲間の弟子たちに、「わたしたちも行つて、一緒に死のうではないか」と言つた。》

さて、イエスが行つて御覧になると、ラザロは墓に葬られて既に四日もたつていた。

《ベタニアはエルサレムに近く、十五スタディオンほどのところにあつた。マルタとマリアのところには、多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに來ていた。》マルタは、イエスが來られたと聞いて、迎へに行つたが、マリアは家の中に座つていた。マルタはイエスに言つた。「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに。しかし、あなたが神にお願いになることは何でも神はかなえてくださると、わたしは今でも承知しています。」イ

エスが、「あなたの兄弟は復活する」と言われると、マルタは、「終わりの日の復活の時に復活することは存じております」と言った。イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」マルタは言った。「はい、主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであるとわたしは信じております。」

《マルタは、こう言う前から、家に帰って姉妹のマリアを呼び、「先生がいらして、あなたをお呼びです」と耳打ちした。マリアはこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのもとに行つた。イエスはまだ村には入らず、マルタが出迎えた場所におられた。家の中でマリアと一緒について、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、墓に泣きに行くのだろうと思ひ、後を追つた。マリアはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足もとにひれ伏し、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう」と言った。彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、《「イエスは、」心に憤りを覚え、興奮して、言われ

た。「どこに葬つたのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。イエスは涙を流された。ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。しかし、中には、「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようににはできなかったのか」と言う者もいた。

イエスは、再び心に憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石でふさがれていた。イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、四日もたっていますから、もうにおいます」と言った。

イエスは、「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」と言われた。人々が石を取りのけると、イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしをお遣わしになつたことを、彼らに信じさせためです。」こう言うことから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出

て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどこいてやって、行かせなさい」と言われた。

マリアのところに来て、イエスのなさったことを目撃したユダヤ人の多くは、イエスを信じた。

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、神は私たちを死のためにはなく、終わりのない命のために創造されました。ですから、信頼を持って感謝のうちに祈りましょう。

全・主よ、私たちの切なる祈りを聞き入れてください。
1・主よ、わたしたちが希望を託すこの教会が、人間の生命の価値をその受胎からその尊厳ある成長、そして自然に終わりに至るまで、守ってくださいませように、主に祈りましょう。

全・主よ、私たちの切なる祈りを聞き入れてください。

2・私たちの叫びに耳を傾けてくださる主よ、あなたの光で治世者を照らしてください。そうすれば彼らは、住まいを持たない人々に適切な住居を保証する行動を優先することができませように、主に祈りまし

よう。

全・主よ、私たちの切なる祈りを聞き入れてください。

3・善意ある人々の心から石を取り除いてくださる主よ、私たちの社会から、特にソーシャル文化上の破壊的な批判の誘惑と、人々を分裂させ、疎外するあらゆるものからお守りください。私たちの心を柔らかくし、互いに理解し合い、慈しみ合う道へと導いてください。

全・主よ、私たちの切なる祈りを聞き入れてください。

4・洗礼の日に聖霊で私たちを刻印してくださったあなたは、あなたの優しさと慈しみを反映して、私たちを新しい被造物として歩ませてください。

全・主よ、私たちの切なる祈りを聞き入れてください。

司・2026年四旬節兄弟愛運動の祈りを交互に唱えましょう。

1・神よ、私たちの父よ、御子イエスにおいて

私たちが住まわれ、人間の尊厳の価値を教えてくださいました。

2・聖霊の導きのもと、すべての人が尊厳ある住まいを得られるよう尽力している全ての人々とグループ

の方々に感謝致します。
全・私たちはあなたに懇願します。回心の恵みを私たちに与えてください。より公正で、より兄弟愛に満ちた社会を築くために。すべての人が土地と、住まいと、仕事を得て、いつの日か、あなたと共に、天国の住まいに住むことができますように。アーメン。

奉納祈願

全能の神よ、福音の教えに照らされた人々を、ここに行われるキリストの奉獻によって清い者としてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

拝領祈願

救いの源である神よ、キリストのとうといからだと血に養われたわたしたちが一つに結ばれ、その交わりの中で成長することができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。